

**平成30年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課： 市民自治部 まちづくり室 まちづくり推進 課

1. 基本情報

202

施設名	伊丹市神津交流センター		
施設の設置目的	これまでの県民交流広場と交流センター、支所機能に加え、児童館と図書館機能を備えており、地域団体を指定管理者として施設の管理・運営を担っていただくことで、地域住民の参画と協働によるまちづくりを効果的に推進することを目的としている。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標： 市民が主体となったまちづくりの実現 施策目標： 参画と協働による市民自治 主要施策： 共同利用施設管理事業		
指定管理者の名称	特定非営利活動法人 わくわくステーション神津 (団体の住所又は所在地) 伊丹市森本1丁目8番地22		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 28 年 5 月 6 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	施設利用者数 (単位： 人)	
	指標の意味	年間の施設利用者数	
	今年度の目標値	16,000	今年度の実績値 17,306

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H26	H27	H28	H29	H30 (上期)	H30 (通期)
	利用者数 (人)	-	-	-	11,364	13,035	8,631	17,306

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

	区分	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	3ヵ年平均
収入	使用料収入	0	0	0	0
	事業収入	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	指定管理委託料	15,122	15,745	14,818	15,228
	①合計	15,122	15,745	14,818	15,228
支出	維持管理				
	光熱水費	1,578	2,108	2,666	2,117
	清掃等委託料	1,304	1,325	1,230	1,286
	土地建物賃料	0	0	0	0
	修繕料	14	40	0	18
	運営				
	人件費	9,149	10,710	11,904	10,588
	事業等経費	949	556	449	651
	その他	68	49	572	230
	指定管理納付金	0	0	0	0
	②合計	13,062	14,788	16,821	14,890
純収支 (①-②)		2,060	957	△ 2,003	338

施設の管理運営に係る実質経費 (市の負担) ※ 〈単位:千円〉		H25	H26	H27	H28	H29	H30
	市の収入	-	-	-	215	215	214
	(内、使用料収入)	-	-	-	201	201	201
	市の支出	-	-	-	15,122	15,745	14,818
	(内、指定管理委託料)	-	-	-	15,122	15,745	14,818
実質経費 (歳出-歳入)		0	0	0	14,907	15,530	14,604

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目		(具体的内容)	評価結果			
			指定管理者自己評価		施設担当課評価	
			評価	特記事項	評価	担当課所見
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的の実施し、常に清潔に保たれているか。	B	共同利用施設・フリースペース・トイレ・階段等日常清掃を実施している。備品等は適切に管理している。特に大きな修繕業務は発生していない。	B	館内は定期的に清掃されており、清潔に保たれている。エアコンの設定温度など、節電への取り組みも実施されている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B		B	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B		B	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	防火管理者を配置している。毎月の館内会議及び研修は適時実施している。	B	施設の運営に適正な職員配置が行われている。
職員研修は、計画どおり実施しているか。		B	B			
防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。		B	B			
防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	防災マニュアルに沿って、防火・避難・通報訓練等を年2回実施している。	B	防犯カメラの運用や消防訓練の実施により、適正に取り組んでいる。	
	避難訓練を実施しているか。	B		B		
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	B	年2回の施設利用者満足度調査の結果を踏まえ、施設運営等に活かしたサービス向上及び利用者増に取り組んでいる。	B	利用者の意見を反映することにより、施設がより一層活用されるよう取り組んでいる。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B		B	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B		B	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B		B	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	周辺施設・関連団体等と連携し、新しい事業計画を図っていきたい。	B	地域コミュニティとの連携による事業が実施されている。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B		B	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	各種申請書類や利用者情報の保管及び管理を徹底している。お知らせ案内等については、工夫を凝らし、積極的に情報提供を実施している。	B	各種書類は適正に保管されている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B		B	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	適正・適切に行っている。	B	経理処理が適切に行われている。
経理処理は、適切に行っているか。		B	B			

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「－」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	総合評価 B	仕様書に基づいて施設管理を適正に行い、アンケートを実施することにより、利用者からの意見をよく汲み取った運営が行われている。利用者数も順調に増加している。

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「A」＝良好である又は成果があった。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応 【実施期間】平成31年3月5日 ～ 平成31年3月25日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	Q3.交流センター接遇態度 →たいへん満足75%、満足24% Q5施設を利用したの全般的な満足度 →たいへん満足49%、満足49%	左記のように、利用者アンケートからは、職員の接客態度や、施設について、高い評価を得ている。 今後も、継続的に利用者のニーズを把握することにより、より良い施設運営を目指していく。
回答者数		
71		

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置